



【地区活動報告】

世界ポリオデーに向けて、ロータリー財団委員会開催

地区ロータリー財団委員長 中野 均

10月24日「世界ポリオデー」に伴う、ポリオ根絶に向け広報、募金活動について協議を行いました。

財団委員会、ポリオプラス小委員会では、準備期間が短いため来年3月の地区大会にて実施検討することとしました。



ポリオ根絶活動の支援を行っているクラブの所在地
(10月19日現在)

世界ポリオデー（10月24日）
クラブによる支援を記録しよう！

ご入力はこちらから：
www.endpolio.org/ja/register-your-event

Rotary

END POLIO NOW

ポリオ根絶に向けた募金・周知活動

世界ポリオデー

地区ローターアクト 地区副幹事 安阪 雄大

10月24日は世界ポリオデーです。私たちローターアクトは本年度、ポリオ根絶に向けた募金・周知活動をJR和歌山駅前、南海和歌山市駅前にて行いました。

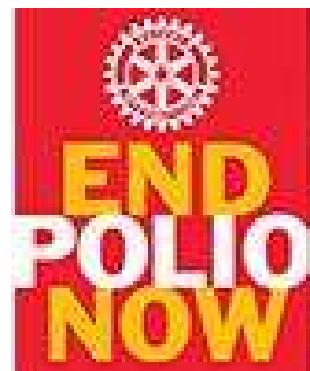
当日は豊岡ガバナー、森本ガバナーエレクト、永野地区幹事にもご参加いただきました。

天候にも恵まれ、多くの方が募金に協力くださいました。また、ポリオ根絶のチラシを配布し、ポリオについての周知を行いました。今回の活動には入会してまだ間もないローターアクターの参加もあり、地区の活動を体験してもらえる良い機会になりました。私たちローターアクトの世代ではポリオの存在自体を知らない人も増えており、今後はポリオに関する学習会などの開催も視野に入れ、活動に磨きをかけていきたいと思います。

今回は急な実施にも関わらず、ご参加いただいた皆様には深く感謝を申し上げます。

集まった募金額は2か所で合計 39,078円でした。この募金額はガバナー事務所を通じまして、国際ロータリーに全額寄付いたします。

全国的に緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常に戻りはじめているのではないかでしょうか。引き続き、ローターアクトは新しい日常に沿った活動を実施、計画してまいりますので、これからもどうぞよろしくお願ひいたします。





クラブ米山委員長会議・カウンセラー研修会

地区米山記念奨学委員長 玉井 洋司

地区米山記念奨学委員会は、10月9日(土)に和歌山JAビルでクラブ米山委員長会議・カウンセラー研修会を開きました。

ロータリー米山奨学事業の歴史は、50年以上前にさかのぼります。敗戦の復興が続く1952年、日本のロータリーの基礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって設立された「米山基金」が基になって設立されたのが「米山記念奨学金」です。

米山記念奨学金の創設の目的、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に平和日本の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、お互いに信頼し合う関係を築き、「世界の架け橋」となること願い創設されました。

私たち2640地区でも広く会員の皆様に米山の理念を理解していただくために、9月に開催を予定していましたが、新型インフルエンザ感染症による緊急事態宣言のため、10月9日に変更し2640地区米山委員長会議を開催いたしました。当日は前窪副ガバナー、村上米山記念奨学会理事、中野パストガバナー、森本エレクト、谷ガバナーノミニーも参加いただき意見交換も開催し、米山月間に備える有意義な会議となりました。又、年度当初より開催がかなわなかったカウンセラー研修会も開催されました。

尚、当地区の昨年の寄付実績は一人当たり普通寄付5,853円特別寄付9,159円計15,048円



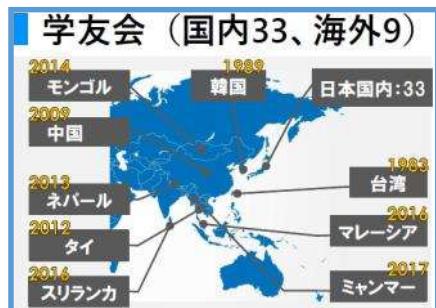
米山奨学事業の概要

- 日本のロータリー独自の事業（日本全国34地区的合同活動）
- 日本で学ぶ外国人留学生の支援（公益財団法人を設立し運営）
- 世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視

奨学事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ
「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること

成功の鍵は、カウンセラー



奨学事業の目的

なぜ外国人留学生を支援するの？

勉学又は研究のために来日し、
わが国の大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とする。

カウンセラーの役割

国際奉仕の最前線 = 「橋渡し役」

- ⇒国際交流と人材育成
- ⇒良い人材を育成することにより、日本中のロータリアンが寄付金に託した想いを叶える
- ⇒奨学生にロータリーの精神を伝える
- ⇒会員に外国人留学生支援の意義を伝える